

## 第 85 回 フォーラム 21 例会 報告

■日時：2021 年 6 月 16 日（水）17：30～19：00

■会場：Zoom

■内容：

### 「情報インフラ設備の設計・導入に向けての検討

#### ～ビルにおける統合ネットワーク設備の導入効果～

講 師：株式会社日立製作所 野口 秀作氏

- ・ ビル設備における統合ネットワークの位置づけは、DX 実現、コスト低減、セキュリティ管理効率化である。統合ネットワーク設備によりスマートビルを実現し、DX を支援する。
- ・ オフィスビル設備における配線統合やコスト低減効果は、33 階のビルの例では、スイッチ台数を 24 台から 8 台に削減。これにより、配線のスリム化、省スペース化、電気代削減も実現。
- ・ ビルのネットワーク設備はここ 10 年ぐらいで様変わりした。従来のビルでは空配管を用意しておき、後からテナントがサーバーやネットワーク設備を設置していた。ここ 1～2 年はこれらの設備をビルとして設置するようになった。
- ・ ビル向け統合ネットワークは、BACnet で構築する基幹系、セキュリティ系、メディア系、OA 系の 4 種類がある。どれを統合するかは何をしたいかによる。
- ・ やりたいことを実現する。それにより新しい価値が生まれる。そのために統合化は第一歩。

### 「ポストコロナ時代に求められるオフィス空間のあり方」

講 師：コクヨマーケティング株式会社 米田 智 氏

- ・ コロナにより、働く場が自宅とオフィスで入れ替わった。現在は両者の比率が同じぐらいに戻ってきた。
- ・ 働く場を選択できるようになった。エンジニア系は自宅。事務系、エッセンシャルワーカー、官公庁はオフィスが多い。職種に合わせたリモートワーク設計が重要。
- ・ 在宅勤務者へのアンケートでは、オフィスに求める役割は、雑談や面談意思決定会議などであった。オフィスの役割がコロナ前とは明らかに変化した。
- ・ 経営者の視点では、働き方改革、BCP・事業継続、DX・AI・IoT を重視している。具体的には、オフィス環境改革、自己管理・管理職スキルの向上など。
- ・ 働き方改革と進める上では、場と型と技の三位一体での取り組みが重要。
- ・ Web 会議需要への対応として、遮音化した Web 会議スペース「WORKPOD」を商品化。消防法上の制約にも対応している。名古屋オフィスに実際に設置している。
- ・ 名古屋オフィスでの他の例として、社内外の交流を促す空間の「シンクロテラス」、オフィス中央に配置しふらっと立ち寄り自発的交流を作り出す「シンクロカフェ」。
- ・ 働く環境を考える企業キーパーソンに向けた、ワークスタイル戦略情報メディア「WORKSIGHT」を Web にて発信している。<https://www.worksight.jp/about>
- ・ 企業が抱える経営課題に「働く環境（＝空間インフラ＋制度インフラ）のリデザイン」という視点からアプローチしていく。

「オフィス視察：コクヨ名古屋ライブバーチャル視察ツアー」

- ・ コクヨ名古屋では、コロナ禍を踏まえオフィスの役割を再定義し、中長期の働き方も考慮した課題解決を各所に施し、社員が自ら挑戦する「ライブオフィス」を構築し、新たな働き方・しくみ・運用面の取組みを実施中。
- ・ **Zoom** のライブ映像を通じて、実際のオフィスを見学させていただいた。

以 上

報告者 小林 浩（株式会社トーエネック）